



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



TAKARAZUKA

宝塚ユネスコ協会

2023年4月1日発行会報



ご挨拶

宝塚ユネスコ協会会長 直宮憲一

宝塚ユネスコ協会は本年(2023年)創立60周年を迎えることとなりました。これまで、代々の会長様や役員の皆様、並びにこの協会を長年にわたってご支援ご協力をたまわりました諸会員の皆様のお陰をもちまして、60年の記念すべき年を迎えることができました事に対し、深大なる謝意を申し上げます。

ここ数年に渡るコロナ・ウィルスの疫病蔓延も油断はできませんが、やや下火になる傾向をみせております。ただ、ユネスコ活動の原点である第二次世界大戦以後、膨大な死者や負傷者を出した戦争への反省から、国際連合やユネスコ活動が生まれたことを裏切るように、万人の世界平和の願いを破壊するようなロシアのウクライナ侵攻という暴挙は未だに解決をみていません。

この様な世界情勢のなかで、我々ができることは、微々たる活動ではありますが、これまで先輩諸氏が営々と継がれてきた活動を受け継ぐとともに、新たな事業にも取り組んでいきたいと考えております。幸い、これまで取り組んできたユネスコ世界遺産写真展や宝塚ユネスコ合唱団コンサートの取り組みや、「絵で伝えよう!私の町のたからもの」絵画展は多くの会員や市民の皆様の賛同を得て、順調に広がりを見せております。

これらの事業を継承するとともに、本年度は創立60周年記念の式典をとり行うとともに、新たな取り組みとして、未来を担う子供たちの為に、残していかなければならない「宝塚の未来遺産」の選定にむけた事業を新たにに取り組んでいきたいと考えております。この事業の趣旨は過去・現在にわたる「宝塚市のかけがいの無い文化やモニュメントや歴史」などを、将来を担う子供たちと共に考え、未来に渡って残していこうとする事業であります。

幸いこれらの事業は日本ユネスコ協会が推奨する事業として位置づけられているとともに、すでに先進的な取り組みとして、阪神間では芦屋市ユネスコ協会などがすでに実施しております。この事業については完成までには若干の年月がかかると思いますが、宝塚の未来を担う子供たちが「我が町・宝塚のすばらしさ」を学び、未来に渡って受け継いで行くための重要な事業になると考えておりますので、会員皆様の絶大なる御支援・御協力をたまわりますよう、お願い申し上げます。



2023年度総会のご案内

日時：2023年5月21日(日)
13:30-15:00

場所：宝塚市立国際・文化センター小ホール
(阪急・宝塚南口駅下車)

会員様へは別途ご案内いたします

宝塚ユネスコ協会

事務局：〒665-0032
兵庫県宝塚市東洋町1-1
宝塚市役所 宝塚市教育委員会
社会教育課内
(TEL 0797 - 77 -2029)

2023年度の主要行事予定

2023年

- ・ 5月21日(日) 宝塚ユネスコ協会年次総会
- ・ 11月12日(日) 宝塚ユネスコ協会60周年記念式典および記念コンサート(宝塚ソリオホール)

その他、主な行事として、以下を予定しています。(名称は仮称)

- ・ 「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」絵画展
- ・ ユネスコ世界遺産および宝塚未来遺産写真展
- ・ 原爆と戦争展
- ・ 書きそんじハガキ(世界寺子屋運動)、他

具体的に決まり次第、ホームページに記載しますので、適時ご覧ください。

ホームページ：

<https://www.unesco.or.jp/takarazuka/>

諸般の事情により、やむを得ず、延期または今年度の中止をさせていただきますことがありますが、ご容赦願います





2022年度の宝塚ユネスコ協会行事より

宝塚ユネスコ協会2022年度総会(第69回)

3年ぶりの対面総会が、2022年5月15日(日)、宝塚市立国際・文化センター小ホールにて開催され、多くの皆様にご参加いただきました。

- ・ご来賓のご挨拶 山崎市長、市村衆議院議員、練木県議、風早県議、山本市議、川口市議
- ・書き損じはがき感謝状の贈呈 末成自治会様(代表、梶川市議)、新日本婦人の会様(代表、川島けい子様)
- ・総会の議事説明と評決
- ・平和への誓い(世界遺産写真とコンサートの動画鑑賞)



書きそんじハガキの取組み

全国ユネスコ協会では、書きそんじハガキや未使用切手、テレホンカード、金券など、合計で4700万円分のご支援が集まりました。その収益で、これまでに44か国で538の寺子屋を建設し、135万人に教育の機会を提供することが出来ました。

宝塚ユネスコ協会では、書きそんじハガキ(884枚)、切手、テレカ、金券など、合計で51,000円分のご支援が集まりました。皆様のご協力に感謝いたします。

第十回記念世界遺産写真展

市民が現地で撮影した世界遺産を展示する写真展を8月20日(土)～23日(火)に、宝塚市立西公民館で開催。今年第十回記念として、世界遺産に加え、日本/世界の絶景の写真も展示、また阪神シニアカレッジの写真クラブ様の協賛・出展や、地元の旅行会社の銀のステッキのスタッフの方々にもご応募いただき、合計50名150点の展示を行いました。

チラシの他に、市の広報への掲載、FM宝塚でのお知らせを行い、のべ220名以上のご来場と、150名もの方からのアンケートをいただき、写真や場所のすばらしさや美しさへの賛辞、世界遺産を守っていくことの重要性などの貴重なコメントも、たくさんいただきました。

また、宝塚ユネスコ協会の顧問の大阪芸術大学の吉川教授の、全般の講評と、来られた方の質疑応答もありました。



8・15 平和の鐘を鳴らそう

宝塚市は8月15日終戦の日に、戦没者を慰霊し、世界の平和を祈る式典をしています。

宝塚ユネスコ協会もこの式典に役員が参加し、平和の鐘を鳴らしています。ユネスコ合唱団は同じ8月15日に平和の鐘の前で、慰霊と祈りの歌を歌い鐘を鳴らしています。



2022年9月8・9日 原爆と戦争展

原爆と戦争展を行い、延べ人数は60名、西公民館の事務所の方も、写真を撮って案内等のご協力をいただきました。一人一人の戦争体験や思いを話していただき、それぞれの体験と考えが聞けてとても勉強になりました。

ピアノ演奏もつごう3回行いました。多くみなさまに、とくに若者たちに戦争について見て考えていただきたいと思っています。



第23回「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」絵画展

地域の文化遺産を小学生の新鮮な目で記録し文化の継承の大切さを知る絵画展を、コロナ禍による中断を経て3年ぶりに宝塚市教育委員会との共催で開催しました。市内の小学校16校から91点の応募がありました。

今回から豊水会の澤潤一先生に審査をお願いし、入賞10作品を選定しました。

11月23日(水)に表彰式を行い、入賞の10名には賞状と賞品を贈呈。表彰式の後、澤先生から子どもたちに向けて一点ずつ解説していただき全員熱心に聞き入っていました。表彰式には他の用務で出席できなかった山崎市長も後で観覧にられました。☆入賞作品は宝塚ユネスコ協会のホームページに掲載しています。



宝塚市PTA協議会会長賞
関西学院初等部5年 松井 貴依
宝塚タリア賞



日本ユネスコ協会連盟会長賞
小林聖心女子学院小学校2年 不破 優稀乃
ベガホールクリスマスコンサート



宝塚市長賞
雲雀丘学園小学校3年 木村 珠紀
緑と青と赤と黄色



宝塚市教育長賞
市立宝塚小学校5年 川端 泰貴
宝塚の町を守る救急工作車



宝塚ユネスコ協会 奨励賞
関西学院初等部2年 米原 藍子
私の町はたからものばっかり



宝塚ユネスコ協会 奨励賞
関西学院初等部4年 堀川 薫
わたしの通学路



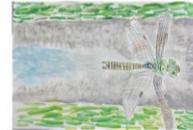
宝塚市国際観光協会会長賞
雲雀丘学園小学校3年 遊邊 晴太



宝塚商工会議所会長賞
関西学院初等部6年 岸田 心



宝塚ユネスコ協会会長賞
市立西山小学校6年 黒田 千穂
宝塚のたからもの



宝塚ユネスコ協会 奨励賞
市立長尾台小学校1年 與志光 栞心
つかまえたゲンヤンマ

感動と共感を頂いた ユネスコ合唱団<しゃぼん玉童謡の会>コンサート ～お話と歌で綴る～赤い靴 野口雨物語

昨年12月4日(日)に上記コンサートをベガホールで開催しました。非常に沢山のお申し込みを頂きましたので、急遽2回公演にいたしました。

合唱団では、昨年一年かけて、歌の練習と併せて、野口雨情の生家を訪れて雨情のお孫さんにお話をお聞きしたり、横浜に「赤い靴」の像を訪ねて、像を建設した方々のお話を伺ったりして雨情への理解を深めてきました。公演では和太鼓・タップダンス・ヴァイオリン・民謡の先生方が舞台に一層の彩りを添えてくださり、ご来場の皆様方から好評のご感想を沢山賜りました。本当にありがとうございました。



雨情のヒストリーから生まれた歌



和太鼓演奏



第2部 雨情の詩とリズムを楽しく演奏



第3部 赤い靴物語



フィナーレ
出演者一同ご来場御礼のご挨拶

ウクライナ緊急募金

ユネスコ協会連盟の(ウクライナの海外避難民への援助)に、多くの貴重な募金をいただき、ありがとうございました。会の予算と合わせて、計30,000円を協会連盟に送付いたしました。



ユネスコ交流事業より

2022年近畿ブロックユネスコ活動研究会

2022年11月5日に舞鶴市の商工観光センターでユネスコの近畿ブロック活動研究大会がおこなわれました。舞鶴市はご承知のように太平洋戦争後の引き上げ兵士が帰還した港町として知られた場所です。舞鶴ではユネスコの「記憶遺産」として世界遺産認定への取り組み活動をしていることから、今回の研究大会が催されたということです。おりしもロシアのウクライナ侵攻という暴挙に対して「平和な社会の構築」や、「持続可能な社会の推進」を掲げて研究大会が開催されました。

研究テーマとしては、「世界寺子屋運動・識字教育」・「学校や市民と連携したESDの推進」・「地域の文化・文化遺産の継承 未来遺産運動」・「防災・減災教育 被災地から学ぶ運動」の4分科会の研究発表が行われ、参加した各ユネスコ協会からの活発なディスカッションが行われました。当ユネスコ協会からは3名の理事が参加しました。来年は世界遺産登録に取り組もうとしている奈良県橿原市や明日香村が近畿ブロックの研究大会の会場になるようです。(文責・直宮)



2022年度活動より

- ・ 5/15 宝塚ユネスコ協会年次総会
- ・ 6/10 兵庫県ユネスコ連絡協議会総会@川西
- ・ 6/19 近畿ユネスコ協議会総会及び研究会@長浜
- ・ 6/25 日本ユネスコ協会連盟定時総会@東京 (委任状参加)
- ・ 7/15 阪神間ユネスコ協会連絡会@宝塚(宝塚担当)
- ・ 7/23他 宝塚市平和事業検討委員会
- ・ 8/15 平和の鐘を鳴らそう、祈りの夕べ ユネスコ合唱団
- ・ 8/20-23 第10回記念ユネスコ世界遺産写真展@西公民館
- ・ 9/ 2 淡路島ユネスコ協会設立会議(リモート参加)
- ・ 9/ 8-10 原爆と戦争展@西公民館
- ・ 10/1 日本ユネスコ協会連盟臨時総会(委任状参加)
- ・ 10/12 阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業@いたみホール
- ・ 11/5 近畿ブロックユネスコ活動研究会in舞鶴
- ・ 11/18 阪神間ユネスコ協会連絡会@西宮
- ・ 11/21-24 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展 @宝塚市立文化芸術センター
- ・ 12/4 ユネスコ合唱団<しゃぼん玉童謡の会>コンサート
～お話と歌で綴る～赤い靴 野口雨物語@ベガホール
- ・ 1/11～ 書き損じはがき回収箱設置
- ・ 3/18 阪神間ユネスコ協会連絡会@芦屋
- ・ 2月～3月 ユネスコ合唱団ツアー(小田原白秋記念館、徳島県鬼籠野のしだれ桜・鳴門第9日本初演の地)
- ・ FM宝塚出演
- ・ 宝塚ユネスコ協会理事会(毎月) 他

第41回阪神間ユネスコ協会連絡合同事業

2022年10月12日に伊丹市宮ノ前の「東りいたみホール」で「下り酒を生んだ清酒発祥の地・伊丹」を表題として小西酒造(株)の15代当主・小西新右衛門氏の基調講演がおこなわれ、令和2年度に日本遺産に認定された「伊丹諸白と灘の生一本～下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷～」についての成果発表があり、さらに日本遺産認定につながる講演がありました。

宝塚では令和元年に「1300年つづく日本の終活の旅」として中山寺等の「西国三十三所観音巡礼」が日本遺産に認定されています。

「日本遺産」とは「我が国の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として将来にわたって残していこうとする」文化庁の事業です。

講演会については阪神間のユネスコ協会の役員や伊丹市民の多数の参加者のもと、3時間に渡って盛大におこなわれました。当ユネスコ協会からは3名の理事が参加しました。(文責・直宮)



宝塚ユネスコ協会会員

浅谷亜紀、池田仁勇、池辺幸恵、石本恵美子、市村浩一郎、稲津芙美子、乾佐知子、宇野麗子、遠藤靖子、大島淡紅子、大西経治、大庭弘義、岡崎公則、岡崎邦子、岡田かづ子、岡本恵美子、沖田弘子、奥野裕志、尾崎和子、小野未紗、風早寿郎、片山 和子、加納邦子、蒲田美代子、川口じゅん、川口玲子、北野聡子、金禮坤、木村ふさ子、熊崎俊三郎、倉橋滋樹、佐々木育夫、佐藤明正、清水栄治、正司 泰一郎、杉森裕子、清家京子、平良千里、武内貴和、田中邦和、田中洋子、種村浄美、趙和美、筒井康世、土井美代子、直宮憲一、中川智子、中小路節子、中野憲人、中山繁子、仁木佳代子、西澤美智子、新田恵子、新田友茂、根岸雅子、ねりき恵子、野口誠、橋本邦子、馬場正美、藤井一男、藤岡和枝、古田時子、穂永恵子、松浦知子、馬目容子、萬田暢子、水原眞沙子、森脇保仁、八木さよ子、山本敬子、山岡信章、山崎晴恵、山路安子、横田昌則、吉岡裕子、吉田順子、渡邊とも子

2023年3月31日現在
(順不同・敬称略)

(訃報) 土井浩さま(前会長)